宇部環境国際協力協会 令和4年度第1回環境保全技術講座

宇部IECA設立25年目記念

「琵琶湖の環境」研修ツアー

2022年11月4日(金)~5日(土)





集合 8:00 新山口駅(新幹線口2階待合室) 8:29 新山口出発 のぞみ10号 🗲 京都駅到着、昼食(各自でお済ませください) 10:38 JR琵琶湖線 12:22 京都駅出発 12:51 守山駅到着 13:20 守山駅出発 借上げバス 13:50 琵琶湖博物館・環境学習センター到着 約2時間 琵琶湖の環境保全について研修、自由見学

15:50 琵琶湖博物館出発 借上げバス

16:10 兵主大社到着

約1時間

概要の説明・参拝

17:10 兵主大社出発 借上げバス

ホテルニューオウミ到着、チェックイン 17:30

ホテル内 日本料理「八万ぼり」にて夕食 18:00



琵琶湖博物館



兵主大社



ホテル出発 借上げバス 8:30

8:45 水郷の郷ヨシ原到着 遊覧船乗船

約1時間 遊覧船 ヨシ原など見学 90分予定

11:00 水郷の郷ヨシ原出発 借上げバス

伊庭町伊庭到着 11:15

伊庭の水辺景観 見学 ※観光ガイドあり 約45分

12:00 伊庭出発 借上げバス

12:10 昼食「田季」(各自でお済ませください)

 $\overline{\Box}$ 13:00 「田季」出発 借上げバス

> 安土城跡見学 (バスの車窓から見学)

安十城郭資料館到着 13:35

約1時間 見学 見学後、徒歩にて安土駅へ移動

15:20 安土駅出発 琵琶湖線

京都駅到着 16:06

16:46 京都駅出発 のぞみ41号 🗲

18:55 新山口駅 解散



水郷の郷ヨシ原 ※人数によってはエンジン船へ変更となる 場合がございます



安土城跡地



ホテル



O Hotel New Omi

〒523-8585 滋賀県近江八幡市鷹飼町1481番地 TEL.0748-36-6666 FAX.0748-36-8800

旅先情報

滋賀県立琵琶湖博物館

「湖と人間」をテーマに、琵琶湖の生い立ち・人と生き物との関わりについて家族で楽しみながら学べる「体験型」博物館です。淡水の生き物の展示としては日本最大級の水族展示は、2016年夏にリニューアルしてパワーアップ。西日本ではここでしか見られない大人気のバイカルアザラシは必見です。

カルアザラシは必見です。 2018年にリニューアルしたディスカバリールーム、おとなのディスカバリーでは子供から大人まで五感を使って琵琶湖や生き物を楽しめる仕掛けがたくさん。2020年10月、約6年の歳月をかけて行ってきたリニューアルが完成しグランドオープンを迎えました。今回リニューアルしたA展示室では世界でも珍しい「半身半骨」のツダンスキーゾウ標本や、B展示室では、AR(拡張現実)技術によりタブレット上で琵琶湖に浮かぶ丸子船の映像を体験できるコーナーなど見どころが満載です。

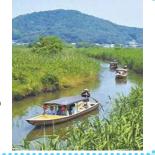
〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091 TEL: 077-568-4811 / FAX: 077-568-4850 https://www.biwahaku.jp/



近江八幡の水郷

近江八幡周辺は元々は広大な内湖(琵琶湖の周囲にあった湿地帯など)がありましたが、今は埋め立てにより内湖は「西の湖」(滋賀の内湖最大)が残るのみとなっています。しかしその周囲は「ヨシ」の群生地(約50へクタール、東京ドーム10個分)となっていて、昔から連綿と続く水辺やヨシを利用した暮らしがあった地域です。

今もその景観は重要文化的景観選定第1号に選ばれるほど色濃く残されており、ヨシと共にある人々の営みも四季を通じて見ることができます。平成4年に「滋賀県琵琶湖のヨシ群落の保全に関する条例」が制定され、滋賀県が琵琶湖のヨシの刈取や植栽などの管理を行ってきました。また条例の趣旨を受けて、市民ボランティア・地元自治会のヨシ刈りやヨシ植栽などの活動が盛んです。さらに小学校などの地域でヨシを学ぶ学習も盛んです。



伊庭の水辺景観

伊庭は、湖東平野に残る水郷集落のひとつ。 その歴史は古く、"保元元年(1156年)、源為義が崇徳上皇からこの地を賜った"という記録が確認されています。 伊庭川から引かれた水路は町中を縦横に巡り、豊かな水量と清らかな水質が内湖と繋がり、人々の生活を今も支えており、人々の生活が水とともにあったことも実感できます。 石垣でつくられた水路には鯉が泳ぎ、初夏にはホタルが飛び交う、またとない風情を醸し出す風景です。平成27年 日本遺産「琵琶湖とその水辺景観 -祈りと暮らしの水遺産ー」の構成文化財として認定されました。



兵主大社

旧中主町のほぼ中央にある神社で、平成30年には建立1,300年を迎える歴史ある神社です。祭神は大己貴命(おおなむちのみこと)、別名八千矛神(やちほこのかみ)です。奈良時代初めの創建という、県下でも有数の古社です。

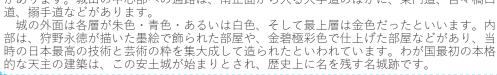
約3万4000平方メートルという広大な境内の入口には、足利尊氏の寄進と伝えられる朱塗りの楼門(ろうもん)が立っています。楼門をくぐると、楓(かえで)の老樹に包まれた玉砂利(たまじゃり)の参道が100mほど続き、その奥に変化に富んだ拝殿と、流造の本殿が立っており、風致(ふうち)に富んでいます。また、社殿南の庭園は、平安時代後期の作といわれ、池を中心とした美しい名園で国指定の名勝です。社宝として、源頼朝や徳川氏の武具が伝えられています。【兵主大社庭園】兵主神社の庭園は、平安時代後期の作といわれており、国の名勝に指定されています。



〒520-2424 滋賀県野洲市五条 5 6 6 TEL: 077-589-2072 / FAX: 077-589-2092 https://www.facebook.com/hyouzu/

〈特別史跡〉安土城跡(車窓からの見学となります)

JR安土駅の北東、標高198mの安土山一帯にある織田信長(1534-82)の居城跡。国指定の特別史跡です。天正4年(1576年)から織田信長が約3年の歳月をかけて完成しました。安土・桃山時代の幕開けとして築城されましたが、織田信長が倒れた本能寺の変後、焼失して石垣だけが残っています。安土山の南側には、堀が巡っていて往時の名残りを留めています。天主跡と本丸跡には礎石が、また二の丸跡には、豊臣秀吉が建立した織田信長廟が残っています。天主閣跡から東へ少し下った黒金門跡(くろがねもんあと)付近には、壮大な石垣もあります。また、山の中腹には家臣団屋敷跡があり、山の尾根づたいに北へ行くと八角平や薬師平があります。城山の中心部への通路は、南正面から入る大手道のほかに、東門道、百々橋口道 郷毛道などがあります。





安土城郭記念館

この資料館には、織田信長が築城した安土城のひな形が、実物の20分の1の大きさで再現されています。安土城は、金箔瓦をいただき、外観5層内部7階で、内部は狩野氷徳(かのうえいとく)の襖絵や異国文化の調度で飾られていた豪壮華麗な城です。安土城は、本格的な天主閣をもった初めての城といわれます。外人教師ルイス・フロイス(1532-1597)が本国に送った書簡に書いたことで、ヨーロッパ中に紹介された。その天主閣が細部まで忠実に再現されており、安土城の姿を偲ぶことができます。

〒525-0001 滋賀県近江八幡市安土町小中700 TEL: 0748-46-5616 / FAX: 0748-46-7050 https://www.azuchi-shiga.com/n-jyoukakusiryoukan.htm

